

# Baubiologie バウビオロジー

(建築生物学・生態学)

2000年3月

『健康な住まいへの道―バウビオロジーとバウエコロジー』出版。  
ホルガー・ケーニッヒ著 高橋元 監修  
石川恒夫訳 (建築資料研究社)



2002年3月25日

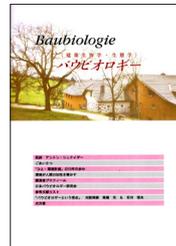
朝日新聞全国紙に  
バウビオロジーに関する  
記事が掲載される。

2003年11月

『バウビオロジーという思想』  
アントン・シユナイダー  
石川恒夫 訳著 (建築資料研究社)



2005年3月5日



高橋元メモリアルセミナー「バウビオロジーの原点から」  
日本バウビオロジー研究会発足

主催：ひと・環境計画 共催：日本バウビオロジー研究会  
設立時発起人(理事)：石川恒夫 櫻野紀元 菅原明子 豊原寛明 濱田ゆかり  
林慧次郎 坊垣和明 マテーペーター 三井所清典 監査：巻京子 立見公一  
事務局：中里美保

2005年3月5日

環境衛生医フォルカー・ツァーン博士来日講演(東京)



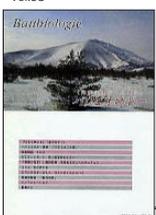
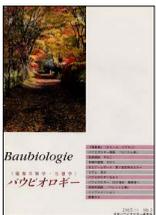
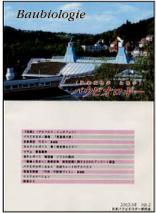
2005年8月

会報誌第2号「坊垣和明の『民家探訪』連載開始」  
\*『民家のしくみ―環境と共生する技術と知恵』(学芸出版社より単行本化)



2005年5月

研究会会報誌『バウビオロジー』1号発刊。以降、年4回刊行。(合併号発刊の場合は年3回)



2005

2005年6月 第1回定例セミナー開催。以降、年4回のペースで定例セミナーを開催。

1980年代 断熱気密化住宅の普及。壁体内結露、夏季の温熱環境、冬季の過乾燥などの問題。

1980年 住宅の省エネルギー基準制定(旧省エネルギー基準 等級2)

1990年代 シックハウス症候群が大きな社会問題として取り上げられる。化学物質過敏症の認知。

1992年 住宅の省エネルギー基準改定(新省エネルギー基準 等級3)

1999年 住宅の省エネルギー基準改定(次世代省エネルギー基準 等級4)

2000年

02年3月 国産材・自然素材がブームにシックスクールも社会問題化

03年7月 建築基準法におけるシックハウス規制が施行される。建材が規制される。24時間換気設備設置が義務化された。併せて、ホルムアルデヒド発散建材のJIS、JS規格の見直し等が行われた。

04年 アスベスト含有製品の使用禁止。アスベストリスクが社会問題化し、建築業界にも影響を与える。

04年6月 シックハウス症候群(病名)

05年7月 悪質リフォーム被害が拡大。政府が緊急対策「ロハス」がブームに

05年11月 姉歯事件。構造計算書の偽造が発覚。建築業界に大きな波紋を起こす。

2006年2月

・会報誌4号から、ドイツ・BNから発刊されている雑誌『健康と住まい』の最新記事日本語訳版を掲載開始。  
 ・県立・政令指定都市の図書館・建築系大学に会報誌を寄贈。



2006年4月1日

ゲルハルト・シユスター  
 (オーストリア・ドナウ大学教授)  
 特別講演



「中部ヨーロッパにおけるバウビオロギー・バウエロロジーの発展と展望―省エネ対策から健康な住まいづくりまで」

2006年6月 発刊

「日本で実践するバウビオロギー」(学芸出版社)



2006年10月  
 バウビオロギー会議  
 (イタリヤ・シユランダースにて)

2007年5月

『土建築インフォ』の翻訳・発刊  
 土建築への関心が高まる



2007年9月

日本建築学会大会(九州)の関連行事として「日本バウビオロギー研究会特別セミナー」、展示会、見学会を開催。

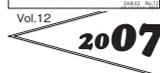
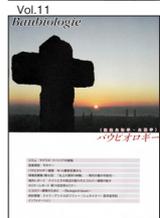


2007年12月

第11回定例セミナー in 群馬



「森林浴を楽しみつ 新月伐採の体験を」



06年1月 改正耐震改修促進法施行  
 06年2月 「京都議定書」が発効。建築でもCO<sub>2</sub>削減の潮流が強まる。  
 06年6月 住生活基本法が施行。住宅政策を「ストック型」へ大きく方向転換。  
 06年10月 「無暖房住宅」「パッシブハウス」など欧州の超省エネ住宅が次々日本でも紹介。

07年 団塊世代のリタイヤが始まる。  
 07年3月 能登半島地震。石川県輪島市で最大震度6強を観測。  
 07年5月 自民党「2000年住宅」ビジョンを発表。  
 07年6月 構造計算適合性判定や確認審査の厳格化、名義貸しの罰則強化などを盛り込んだ改正建築基準法が施行。周知徹底が進んでいなかったことで確認審査手続きが滞り、工事に着手できないなどの問題が出た。日本の景気にも影響を与えた。  
 07年7月 新潟県中越沖地震。新潟県柏崎市・長岡市などで最大震度6強。建物全壊は1000棟を超え、死者15人を出した。  
 07年7月 健康維持増進住宅研究委員会(2011年まで) 副委員長・坊垣和明)  
 07年9月 CASBEEすまい「戸建て」がリリース。

2008年1月

バウビオロギーの可能性  
ホルガー・ケーニツヒ特別講演（大阪）



Vol.13



Vol.14



Vol.15



Vol.16

2008年4月

事務局：中曽根 康

2008年5月

「リフォーム&リノベーション」  
ブース出展（東京ビックサイト）



2008年8月

会報誌14・15 寝室領域における  
バウビオロギーの指針値（SBM  
2008）掲載



2008年6月

第13回定例セミナー  
東京都市大学（等々力）を会場に

2008年9月

日本建築学会大会（広島）の関連行事として「日本バウビオロギー研究会特別セミナー」、展示会を開催。



Vol.17



Vol.18



Vol.19



Vol.20

2009年3月

会報誌第16号「榎野紀元」文芸  
作品に読む建築の話」連載開始  
\*榎野紀元『快適すまいの感性学』  
彰国社より



2009年5月

「リジエネレーション・  
建築生産展」ブース出展  
（東京ビックサイト）



2009年6月

第17回定例セミナーin鎌倉



低炭素社会へ向けて：ゼロエネルギー住宅、パッシブソーラー住宅見学

08年 国が伝統的構法の設計法作成・性能検証事業。改正建築基準法の運営の問題から、伝統的な構法が建てられなくなるという声が各地のつくり手から続出。

08年7月 「超長期住宅先導的モデル事業」第一回採択。「よいものをつくって長く大事に使う」という住生活基本法の精神を具体化する施策として、長期優良住宅の枠組みが固まった。大型補助金事業に600を超える提案が寄せられた。

08年7月 政府が「低炭素社会づくり行動計画」

08年9月 リーマン・ショック  
アメリカの投資銀行リーマン・ブラザーズ破綻に端を発し、世界的金融危機が発生。日本の住宅市場も大きな打撃を受けた。持ち家政策を支えてきた住宅ローン大衆化政策、その価値観自体が大きく揺らいだ。

08年11月 定期講習の義務化や構造・設備一級建築士の要件などを定めた改正建築士法が施行

09年 太陽光発電余剰電力倍額買取制度

09年6月 (社)全国電磁波測定士協会設立

09年6月 長期優良住宅普及促進法施行

09年10月 住宅瑕疵担保履行法がスタート

09年10月 化学物質過敏症（病名）  
入化保証金の供託が義務付けられた。

住宅着工45年ぶりに80万戸割れ

2011年7月 研究会ロゴの作成

- バウビオロギーは輝く「太陽」を内なる中心にもっています。
- バウビオロギーは「支える・支えられる」関係を意識します。
- バウビオロギーは経済性・環境性・社会性を調和に導きます。
- バウビオロギーは人間愛に支えられて美的空間を創造します。(石川恒夫)



新しいHP アドレス (国際的交流に歩調をあわせて)  
<http://www.baubiologie.jp>



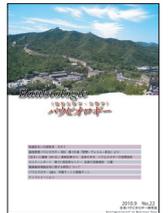
研究会6周年記念、W-D. ブランク氏によるバウビオロギー・セミナー (東京、軽井沢)

2011年3月

2010年2月  
 「通信教育バウビオロギー」  
 日本版の準備開始。



Vol.21



Vol.22



Vol.23



Vol.24

2010

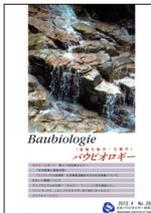
2010年9月



Vol.25



Vol.26 & 27



Vol.28

2011

ドイツ IBN 季刊誌

「Wohnung+Gesundheit(健康と住まい)」  
 石川恒夫記事掲載 Baubiologie in Japan  
 (日本におけるバウビオロギー)

2010年10月

ドイツ、ウエルツブルクで「バウビオロギー  
 + 建築+環境医学会会議」(石川理事講演)



交流部会 テーマ「巣としての住まい  
 -バウビオロギーって何？」

2010年9月

2011年5月8日  
 石川恒夫  
 バウビオロギー通信講座  
 修了証(IBN)

2011年5月  
 通信教育講座に関してIBNとライセンス契約締結  
 当研究会理事の石川恒夫が日本ではじめてのバウビオロギー  
 (IBN) を取得。

2011年9月 (定例総会を経て)

理事: 石川恒夫 菅原明子 土田直樹 濱田ゆかり  
 坊垣和明 マテーベーター 三井所清典  
 監査: 中曾根康 立見公一 事務局: 原衣代果

2011年10月  
 通信教育講座バウビオロギー 開講 第1期生の受講が始まる。19名参加  
 特別セミナー「バウビオロギーの住まい「土と出会う」(リビングデザインセンターオゾン)

10年3月 住宅版エコポイント制度スタート

10年4月 新築住宅の省エネ基準適合義務化方針示される

10年6月 政府の「新成長戦略」に中古住宅流通・リフォーム市場倍増目標

10年10月 公共建築物木材利用促進法施行。  
 国の補助事業で各地に「エコハウス」モデルの建設進む。  
 長期優良住宅や住宅エコポイントなどにより断熱材が品薄に。

11年3月 東日本震災+福島第一原発事故の発生。放射性物質の拡散。PM2.5への関心。

11年4月 合板や断熱材、設備工場の被災やサプライチェーンの分断による資材危機

11年7月 大手住宅メーカーや家電メーカー、自動車メーカーらによる「スマートハウス」の市場投入が活発化

11年8月 建築環境・省エネルギー機構 CASBE 健康チェックリスト運用開始地盤調査に液状化判定の問い合わせが増加



2013年9月  
IBNの「W+G」誌148号  
(2013年秋号)に遠野  
未来氏の記事「新しい日  
本の土建築」掲載



2012年5月20日  
スクーリングI (軽井沢)



Vol.29



Vol.30

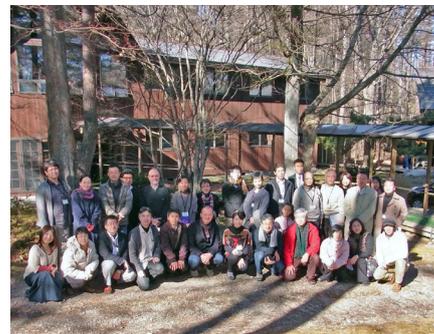


Vol.31



Vol.32

2012



2012年11月



B・A・U会議開催。  
グインフリート・シユ  
ナイター氏来日講演  
(東京、軽井沢)



2013年9月23日  
スクーリングIII (軽井沢)



通信教育講座受講生第1期生から、  
バウビオローゲBIJが誕生する。(9名)



第33回定例セミナー in 横浜  
「無垢造の家の見学会」

2013年6月23日

2013年8月6日

2013年9月5日

2013年9月5日



Vol.33 & 34



Vol.35



Vol.36

2013

12年4月 国の「地域型住宅ブランド化

事業」に業界が注目。各地で生産者グ  
ループが結成される

12年5月 茨城・栃木などで竜巻被害

12年7月 再生可能エネルギー固定化価  
格買取制度がスタート

12年8月 政府・中央防災会議が南海ト  
ラフ巨大地震の被害想定を公表

全壊数最大で13万6000棟、死者最  
大で32万人超

建築士の「なりすまし」が相次ぎ発覚

12年12月 「都市低炭素化促進法」が施  
行。低炭素住宅の認定制度がスタート

13年5月 木材利用ポイント制度スタ  
ート

13年9月 埼玉・千葉で竜巻被害

13年10月 住宅・建築物の省エネルギー  
基準改定。新基準(平成25年基準)が  
施行。

(住宅部分、非住宅建築物は2013  
年4月施工)

建築物の外皮性能に加えて、設備性能も  
含めて総合的に評価。

再生可能エネルギーへの関心。

13年12月 消費税増税の駆け込みで住宅  
着工が好調。2013年は前年比11%  
増の98万戸に

第2回

Baubiologie Architektur Umweltmedizin

**バウビオロギー + 建築 + 環境医学 (B.A.U.) 会議**  
 テーマ - バウビオロギーとサスティナビリティ -

ドイツ IBN が新研究所施設開設に伴い、今年5月にドイツで開催するバウビオロギー会議のテーマ「バウビオロギーとサスティナビリティ」を私達にも受けとめ、今回の会議のテーマといたします。今回、ドイツから建築家/バウビオローゲ IBN のクリストフ・ビヨック氏をお招きし、健康な住まいと都市環境について考えたいと思います。

- ◆と き：2015年3月6日(金)～8日(日)
- ◆と ころ：軽井沢・恵みシャレー (宿泊・食事はこちらです)  
 住所 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1374-5 電話 0267-42-2302
- ◆プログラム (内容に変更がある場合があります)

**3月6日(金)**

- 14:00 開会あいさつ：石川 恒夫
- 14:30 【講演1】 講師：三田村輝章  
 アレルギー対策と換気システムについて (医工連携の最新事例)
- 15:30 コーヒー・タイム
- 16:00 【講演2】 講師：三井所清典 気候風土にあった住まいづくりのコツ
- 17:00 【講演3】 講師：土田 直樹 電磁波対策の最新情報
- 18:00 夕食
- 19:30 【基調講演1】 講師：クリストフ・ビヨック (通訳あり)～21:00  
 「バウビオロギーとサスティナビリティ 未来のための住まいづくり」

**3月7日(土)**

- 08:45 【基調講演2】 講師：クリストフ・ビヨック (通訳あり)  
 「都市のバウビオロギー フッグライから学ぶこと」
- 10:15 コーヒー・タイム
- 10:30 【会員活動報告1】 石永 節生 地域創生のために—NPO 活動の実践
- 11:00 【会員活動報告2】 阿部 哲志 震災復興へ向けて—岩手県への取り組み
- 11:30 【会員活動報告3】 近藤 佳奈 Sense of Peace—私にとっての快適な住まい
- 12:00 昼食
- 14:00 【設計ワークショップ】 チューター：クリストフ・ビヨック、三井所清典  
 \*設計実務の経験の有無に関係なく、ご参加ください。  
 軽井沢駅前計画を題材とする予定 (詳細は後日)
- 18:00 夕食
- 19:30 設計ワークショップ総括
- 21:00 \*バウビオローゲ/通信教育講座バウビオロギー受講生はビヨック氏との懇談

**3月8日(日)**

- 09:00 オイリュトミー
- 09:30 【講演4】 講師：辻 充孝 サスティナブルデザインとは—省エネの考え方
- 10:30 【講演5】 講師：浦尾 弥須子 アントロポゾフィー医学の課題
- 総括/閉会  
 食事の後 終了  
 午後：(オプション) 見学会(海野宿) 参加費別途

10周年記念イベント

会場：リビングデザインセンターオゾン

**3月10日(火)**

クリストフ・ビヨック特別講演  
 (日本バウビオロギー研究会第40回記念定例セミナー)

■プログラム

- 1:30～2:15 講師：石川 恒夫  
 「魂の宿る場所 —バウビオロギー これからの展望—」
- 2:15～3:00 講師：坊垣 和明  
 「ローテクとハイテク —その融合・調和が開く未来—」
- 休憩
- 3:15～4:45 クリストフ・ビヨック氏 (通訳：石川恒夫)  
 「バウビオロギーとサスティナビリティ —健康な住まいから健康な街へ—」



2014年5月25日  
 スクーリング1(つくば)

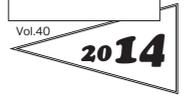


2014年10月24～25日



第39回定例セミナーとして、東日本大震災の支援を含め、東北のバウビオロギー建築を見学するツアーを行う。

NEXT



14年 スマートウェルネス住宅等推進モデル事業。  
 健康・省エネ住宅を推進する国民会議。  
 14年2月 関東甲信地方で大雪  
 14年4月 消費税5%から8%に引き上げ。駆け込みの反動減で住宅市場が低迷  
 15年2月 一般社団法人日本電磁波協会設立  
 20年(平成32年) すべての新築住宅に省エネルギー基準の適合を義務化?